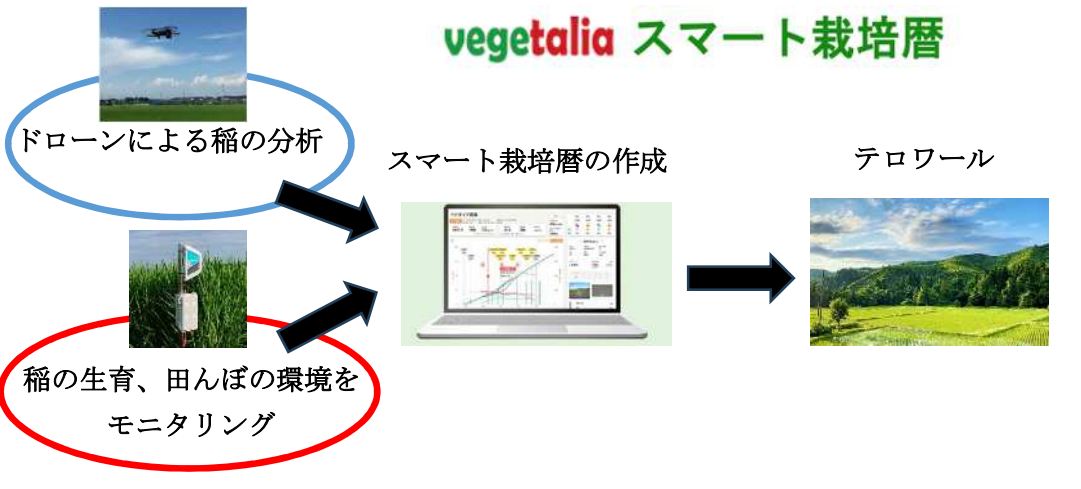
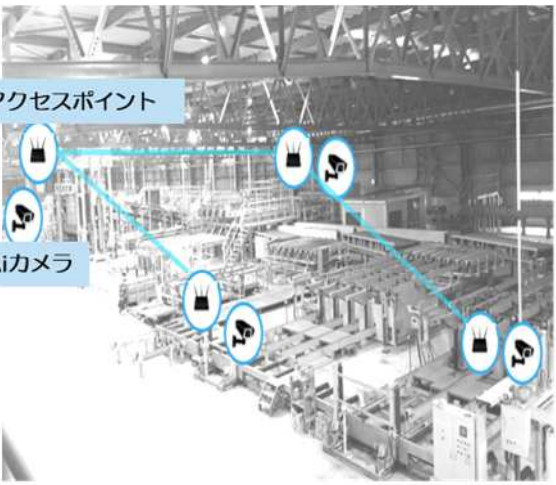
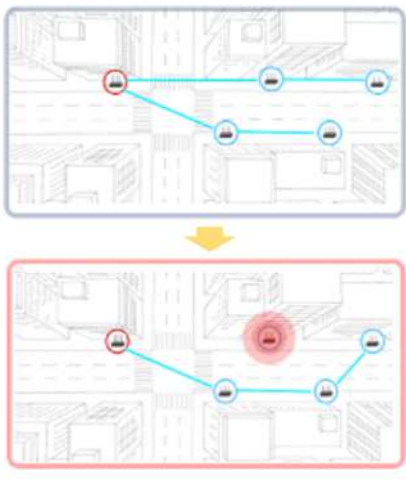




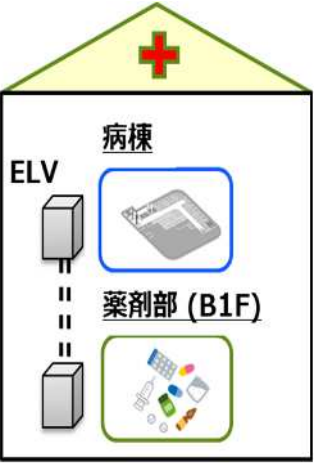


【開発プロジェクト】

PJ名	世界に羽ばたく日本酒テロワール！米作り・酒造り DX プロジェクト
メンバー	泉橋酒造株式会社、ベジタリア株式会社、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
概要	<div style="text-align: center;">  <p>vegetalia スマート栽培暦</p> <p>ドローンによる稲の分析</p> <p>スマート栽培暦の作成</p> <p>テロワール</p> <p>稲の生育、田んぼの環境をモニタリング</p> </div> <p>センサー等を用いて酒米の栽培管理をサポートするモニタリングシステム「酒米版スマート栽培暦」を開発する。また、ドローン搭載カメラにより、酒米栽培圃場で生育状況の面的なデータ取得・数値化を行い、酒米のタンパク含有率マップを作成し、最適な日本酒の醸造方法を開発する。これにより、酒米栽培技術の高位平準化や生産性向上などの農業 DX を実現するとともに、独自の栽培システムによるテロワール（個性）を創出する。</p>








PJ名	インダストリー向けハイスピードフレキシブルメッシュ Wi-Fi の開発プロジェクト
メンバー	株式会社 AiTrax、株式会社 Momo
概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アクセスポイント</p> <p>Aiカメラ</p> <p>複数台の子機で無線ネットワーク網を構築</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自動的に通信経路をアップデート</p> </div> </div> <p>配線や設計が不要な全自動フレキシブルメッシュ Wi-Fi を、工場等の生産現場に合わせて開発する。これにより、低コストでの工場等のブロードバンド通信網構築を実現し、製造業の DX 促進に寄与する。</p>

PJ名	スチールセンターにおける目視検査の安全かつ効率向上プロジェクト
メンバー	株式会社 TOMOMI RESEARCH、伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社、東京スチールセンター株式会社
概要	<p><b>[課題]</b> 銅板の疵検査の自動化に向け課題を解決する技術を提案します</p>  <p>危険性を伴う目視検査</p>  <p>地肌</p>  <p>有害疵</p>  <p>全長検査が出来ず、一部のみの検査</p> <p><b>[解決]</b></p>  <p>遠隔で検査が可能、安全確保</p>  <p>3次元形状の画像処理により、様々な疵の識別が可能</p>  <p>AI異常検知により、リアルタイム全長検査可能、生産性・品質向上</p> <p>危険が伴うスリッターラインでの表面疵検査を、画像処理技術とAIを用いて自動化する製品を開発する。これにより、短時間かつ全長のリアルタイム検査を可能とし、安全性の確保と生産性・品質の向上を実現する。</p>

PJ名	RX による院内搬送ソリューションプロジェクト
メンバー	日本精工株式会社、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
概要	 <p>院内搬送アシスト ロボット</p>  <p>センサ &amp; 自律走行 ソフトウェア</p>  <p>薬剤カート (病院の既存資産 を活用する)</p>  <p>病棟 ELV 薬剤部 (B1F)</p> <p>院内搬送アシストロボットによる既存薬剤カートの自律搬送に向けて、医療現場の日常業務に溶け込むセンシング機能を開発する。これにより、病院へのロボット導入が加速するプラットフォームの検討を行い、DXとRX(ロボットトランスフォーメーション)による、院内リソース最適化の実現に向けたソリューションの提供を目指す。</p>

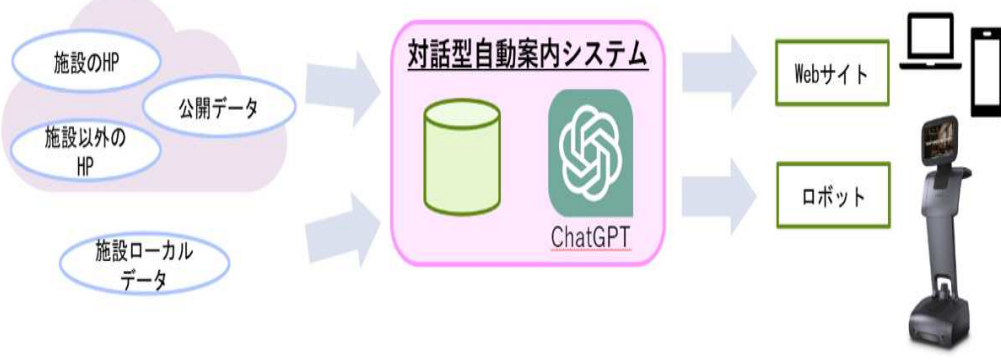
PJ名	スポーツジム等における未病の見える化プロジェクト
メンバー	株式会社リキッド・デザイン・システムズ、横浜 IoT 協同組合、合同会社 ZEST FOR LIFE
概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>血圧計のある施設で (スポーツジムや温浴施設等)</p> <p>STEP 1</p> <p>血圧測定で3つの データを取得し入力</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>血圧測定値から、 「未病状態」や「生活習慣アドバイス」を提供</p> <p>STEP 2</p> <p>可視化された 未病状態のチェック</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>STEP 3</p> <p>分析結果に基づいた アドバイス表示</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>楽しく積極的に血圧測定を 行う仕組みを構築</p> <p>高血圧の早期発見 健康意識向上</p>  </div> </div> <p>血圧計で得られる情報から未病状態を認知し、血圧に関心のない人でも、積極的に血圧測定を行いたくなるような健康サポートアプリを開発する。これにより、未自覚の高血圧患者の早期発見や、健康意識向上を行う仕組みの構築を実現する。</p>

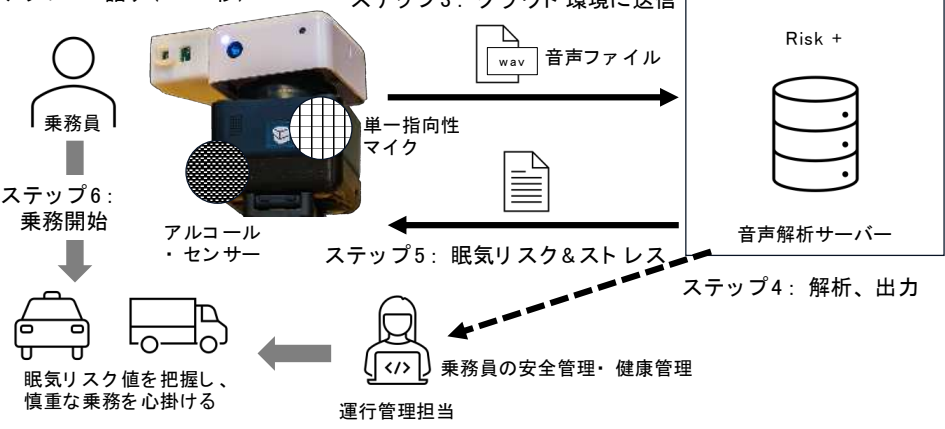
### 【改良プロジェクト】

PJ名	介護タクシー業界を変革するヘルスケア MaaS プロジェクト
メンバー	株式会社アイネット、認定 NPO 法人横浜移動サービス協議会
概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>移動困難者</p> <p>安心して利用 移動したくなる</p>  <p>車いす ストレッチャー 要介助</p>  <p>自宅の階段 付近の路地</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>配車</p> <p>マッチング</p>  <p>i-CareGO</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>個人 介護タクシー</p> <p>利用者層拡大 利便性</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>介護タクシー事業者</p> <p>速やかな配車 稼働率向上</p>  <p>介護サービス</p>  <p>待機車両予測 介護人員配置</p> </div> </div> <p>利用者が求める介護タクシーの仕様・サービスと、最適なタクシーの配車を行うマッチングアプリについて、利用者層拡大や利便性拡張に対応するため、機能の改良を行う。これにより、介護タクシー事業者と利用者の操作性を高め、速やかな配車を推進し、稼働率の向上を実現する。</p>

PJ名	医療介護現場で働く人の不調を未然に防ぐプロジェクト
メンバー	株式会社きやりこん. com、社会福祉法人恵徳会特別養護老人ホーム恵徳苑
概要	<p>オンラインケア面談サービスに、従業員のコンディション診断・面談データを組織・業界横断で分析し、組織課題をフィードバックする機能を付加するための改良を行う。これにより、経営層と従業員の課題認識を共通化、組織単位での行動変容を促し、メンタル不調や離職が続く医療介護現場の未病改善を実現する。</p>

PJ名	採卵鶏養鶏場 AI を活用した死亡鶏検出システム改良プロジェクト
メンバー	大豊産業株式会社、株式会社八千代ポトリ
概要	<p>自動化されている採卵鶏飼育において、死亡鶏は、様々な歩留まり低下の要因となる。そこで、自律走行ロボットに搭載する死亡鶏検出システムについて、「白鶏」と比較して検出率の低い「赤鶏」の検出精度向上に向けたAIプログラムの改良を行う。これにより、養鶏業の生産性向上と省力化を実現する。</p>

PJ名	商業施設における生成 AI 活用 DX プロジェクト
メンバー	株式会社マクニカ、新横浜ステーション開発株式会社
概要	 <p>自律走行型ロボット「temi」に、Web サイトの情報や施設ローカル情報等を取り込み、「ChatGPT」と連携した対話型自動案内システムの機能を付加するための改良を行う。これにより、最適な回答と自然な対話を可能にし、商業施設の業務効率化及び顧客満足度向上を実現する。</p>

PJ名	ドライバーの安全を確保するアルコールチェック及び眠気リスク検知の自動化プロジェクト
メンバー	リスク計測テクノロジーズ株式会社、PLEN Robotics 株式会社
概要	 <p>ステップ1: 息を吹きかける  ステップ2: 話す(2-3秒)  ステップ3: クラウド環境に送信  ステップ4: 解析、出力  ステップ5: 眠気リスク&amp;ストレス  ステップ6: 乗務開始</p> <p>乗務員  単一指向性マイク  音声ファイル  アルコール・センサー  音声解析サーバー  Risk +  wav  乗務員の安全管理・健康管理  運行管理担当  眠気リスク値を把握し、慎重な乗務を心掛ける</p>
	顔認証及び対話機能を有する AI アシスタント「PLEN Cube」に、アルコールチェック及び眠気リスク検知機能を付加するとともに、データの自動記録を可能にするための改良を行う。これにより、ドライバーの安全確保と運行管理者の負担軽減を実現する。